



成婚率の高さが決め手
コンピュータを一切使わず、すべて100%手づくりの誠実なマンツーマンシステムです。また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介を重視し、無駄のないお出合いを実施しています。ご成婚重視とプライバシー厳守のため、自社会員のみのご紹介をいたしております。

100%
手作りの
お世話[®]

結婚物語 賢さ 際立つ一言

言霊というものがあるのなら、この賢い女性の一言にはまさにそれがあったかのかな、と思うことがあります。彼女は関西の超難関国立大学大学院を卒業した国家公務員で、名実ともにキャリアウーマンでした。でも、彼女の聡明さは... → 続きはWebで [Em Road結婚](#)

Marriage Road 結婚

資料無料 •ドクターズ •エグゼクティブ •スタンダード 各コース

0120-4122-46 10:00~18:00 水曜定休

大阪本社 〒530-0043 大阪市北区天満3-2-2 エムロードビル3F

Em Roadはここが違います

- 1 成婚率の高さ
- 2 質の高い会員層
- 3 専任アドバイザーによる一貫したお世話
- 4 自社会員のみ構成
- 5 個人情報のパーフェクト・プロテクション

神戸 神戸国際会館22F

京都 オフィス・ワン四条烏丸6F

東京 丸の内トラストタワー20F

大阪医科薬科大学 仁泉会 ニュース

仁泉会ニュース 第54巻 第3号

発行所

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

電話 FAX

072-682-6166 072-682-6636

発行者 発行部数

安藤嗣彦 6,250部

URL

<http://www.jinsenkai.net>

青空にたなびく

- ・令和5年度仁泉会定期総会の開催のご案内
委任状提出のお願い
- ・会費の払込にコンビニエンスストアが
利用できるようになりました



目次

- P3 令和5年度 定期評議員会及び総会開催のご案内
祝・卒業 令和4年度卒業証書・学位記授与式
- P7 令和4年度大阪医科薬科大学学部卒業式学長式辞 大阪医科薬科大学学長 佐野浩一
- P9 祝辞 一般社団法人大阪医科薬科大学仁泉会理事長 安藤嗣彦
- P10 祝・京都橘大学健康科学部特別兼任教授ご就任！
（併任）（京都大学大学院医学研究科臨床神経学講座臨床教授継続）
大谷 良先生（学40期）
- P11 祝・山口大学大学院医学系研究科法医学講座教授ご就任！
高瀬 泉先生（学47期）
- P12 祝・福島県立医科大学 放射線医学講座教授ご就任！ 福島賢慈先生（学48期）
受賞報告
- P13 田代 博先生（学部23期） 水谷 均先生（学部26期）
支部長交代のお知らせ
支部だより
- P14 第49回奈良県支部総会開催報告 橋本恵介（学42期）
- P16 開業しました！ 宮崎敬士先生（学51期）
- P18 開業しました！ 高井雅聡先生（学55期）
- P20 開業しました！ 内本晋也先生（学52期）
岡田俊彦先生（学52期）岡田 薫先生（学56期）
- クラス会だより
- P21 36会（学14期）クラス会開催の報告 上原従正（学14期）
2023年3月18日 京都
仁泉ひろば
- P22 高齢社会*を考えるーやがて老いるはずのあなたにー 牧野文雄（学2期）
- P25 はかまた 袴田 巖さんの再審決定までの冤罪死刑囚としての57年！
益永陽子（学23期）
- P27 4年ぶりの総会開催！
令和4年度 大阪医科大学バスケットボール部OB・OG会改め
大阪医科薬科大学医学部バスケットボール部OB・OG会 総会開催の報告
宮崎信一郎（学52期）
- P28 まんが第61回 回文が付いて拡大版 今期の担保はポン太の金庫（学31期）
- P30 新聞切抜 田代 博先生（学23期）
- P31 会員著書 辻 敦敏先生（学11期）
- P32 会員著書 飯島崇史先生（学25期）
本部だより
- P33 理事会開催報告
- P34 会員計報
- P36 大阪医科薬科大学女性医師の会第2回総会のご案内
- P37 年会費のお支払いが、コンビニエンスストアも利用できるようになりました
- P38 編集後記

大阪医科大学 創立100周年 記念事業

数十年先の未来医療へ

大阪医科薬科大学病院 新本館建築プロジェクト

Super Smart Hospital

スマート医療を推進する大学病院

「バイオフィリア」という概念を取り入れ、
自然と触れ合うことで健康や幸せを得られる空間を実現。

AIやロボットなど先端技術を活用し、
効率的で「安全・安心な高度医療」を提供。

最先端の医療技術や高度な多職種連携の学びにより
次世代を担う「優れた医療人を育成」。



募集要項

募金目的▶大学病院新本館建築に係る資金、学生支援体制の充実
募金目標▶10億円
募集期間▶～2027年3月
募金単位▶個人：1口1万円、法人：1口10万円
顕彰▶個人、法人ともに5口以上ご寄付いただいた方は、
銘板にご芳名をしるし、末永く顕彰いたします

特典▶個人：10口以上、法人：5口以上ご寄付をいただきました
方は、健康科学クリニックの人間ドック（基本コース）1回分
の無料受診券を進呈します。
申込方法▶学校法人大阪医科薬科大学寄付 WEB
サイトよりお申し込みいただくか、
募金推進本部迄ご連絡ください。



大阪医科薬科大学基金

大阪医科薬科大学基金は、皆様からいただいた募金を積み立てて資金運用することによりさらに増やしていくもので、
基金の拡充は、長期間にわたる「教育・研究活動」「良質な医療の提供」の強化に繋がります。

募集要項

募金単位▶個人：1口1万円 法人：1口10万円
申込方法▶学校法人大阪医科薬科大学寄付WEBサイトよりお申し込みいただくか、募金推進本部迄ご連絡ください。
【お問い合わせ先】募金推進本部 072-684-7243

【税制上の優遇措置】学校法人大阪医科薬科大学は特定公益増進法人です。大阪医科薬科大学に対するご寄付は所得税・
法人税・相続税の税制上の優遇措置を受けることができます。また一部の自治体では、個人住民税の税額控除の対象となります。



学校法人大阪医科薬科大学 募金推進本部 〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7
Tel: 072-684-7243 Mail: kikin@ompu.ac.jp Web: <https://www.omp.ac.jp/donation/index.html>

至誠仁術を備える人材の育成をめざして

ご支援のお願い

令和5年度 定期評議員会及び総会開催のご案内

令和5年度の仁泉会定期総会及び評議員会を下記の要領にて開催いたします。お手数ですが出欠を同封の総会葉書（兼委任状）にて必ずご返信ください。本年も引き続きZoomを利用してご参加もいただけるよう準備を進めておりますのでご利用下さい。欠席される先生は委任状のご投函をよろしくお願い申し上げます。ご返信のない場合は総会議案に賛成されたものとしてお取り扱いさせていただきますのでご了承下さい。

また、4年ぶりに懇親会を母校地下食堂にて開催いたします。是非ご参加賜りますようお願いいたします。

大阪医科薬科大学仁泉会
理事長 安藤 嗣彦
令和5年5月1日

日 時：令和5年5月28日(日)
午後2時30分より評議員会
午後3時より定期総会
午後5時より懇親会（予定）

会 場：大阪医科薬科大学新講義実習棟1階 P101

【お問合せ先】

大阪医科大学仁泉会事務局

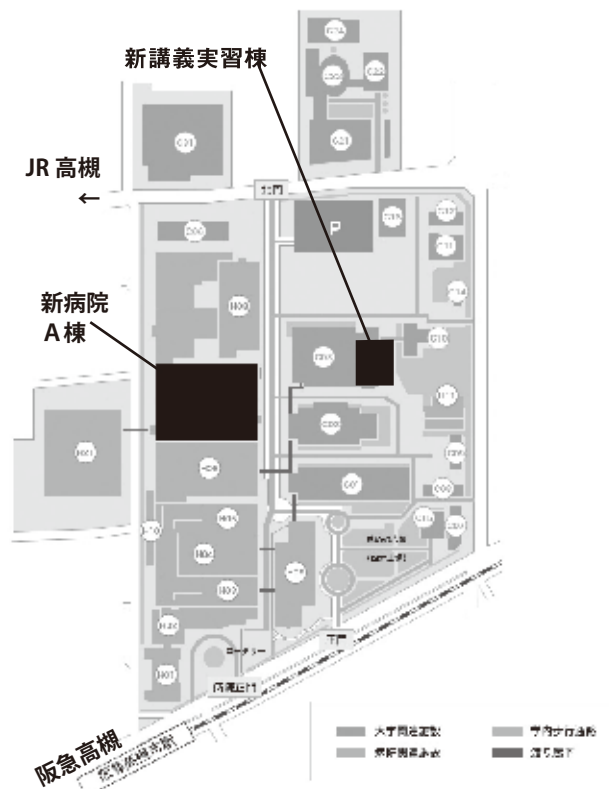
Tel:072-682-6166 Fax : 072-682-6636

E-mail : info@jinsenkai.net

大阪医科薬科大学ご案内地図



大阪医科薬科大学



●お車でのご来場はご遠慮ください

令和5年評議員会次第

1. 議案

1. 評議員改選について

2. 名簿作成について

3. その他
- ・Zoom参加ご希望の先生は委任状にリモート参加有に○をつけて必ずメールアドレスをご記入の上ご返送下さい。後日招待IDをお送り致します。

令和5年定期総会次第

1. 開会の辞

2. 物故会員に対する黙祷

3. 理事長挨拶

4. ご来賓挨拶

大阪医科薬科大学 理 事 長 植木 實先生

大阪医科薬科大学 学 長 佐野浩一先生

大阪医科薬科大学 医学部長 内山和久先生

大阪医科薬科大学 病 院 長 南 敏明先生

5. 仮議長指名

6. 議長選任

7. 議事録署名者選出
8. 報告事項

①令和4年度事業報告

②令和5年度事業計画について

③令和5年度予算について

9. 議案

①令和4年度決算承認を求める件

監査報告

②役員選任を求める件

③その他

10. 閉会の辞

令和5年度仁泉会事業計画

- 【公益目的事業】

1. 学術振興研究援助事業

学術振興及び研究発展の為に、医学会及び研究会に対して助成を行う。

2. 奨学金貸与事業

良医の育成を目的とした、医学部学生に対して奨学金の貸与を行う。
- 【一般事業】

3. 仁泉会本部諸事業

1) 大阪医科薬科大学への後援

①母校の募金事業活動へ協力し、母校の発展向上に寄与する。

②令和5年度医学部卒業生の内、優秀な者に対し、理事会の議を経て、仁泉会理事長賞を授与する。

2) 会員の福利厚生への支援

①会員の動向把握を行い、会員慶弔時における福利厚生につとめる。

②会員相互の親睦交流を深める為の活動支援を行う。

3) 仁泉会組織強化に関する事業

①支部組織強化の為の活動への支援。

②会員で構成される団体への支援。

- ③会費納入の理解協力を求め、納入率向上の為の広報活動を行う。

④地区合同懇談会を開催し、組織率向上を目指す。

⑤学生会員の加入を促し、母校の発展向上に寄与する。
- 6) 広報事業

①機関紙「仁泉会ニュース」の定期発行（学術機関誌としての内容充実）。

②電子化広報の充実拡充（仁泉会ホームページ及びフェイスブックの更新）。

7) 名簿作成事業

2024年度版名簿作成に向け準備を行う。
4. その他法人の目的達成に必要な事業

以上
- 5) 大阪医科薬科大学薬学部同窓会との連携

大阪医科薬科大学薬学部同窓会との情報交換と交流を行う。

令和5年度基金会計収支予算書

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日) (単位 円)

	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
収 入 の 部	1. 基金運用収入	3,000,000	3,670,000	△ 670,000	
	①基金利子	10,000	10,000	0	基金運用利息
	②返還金	2,990,000	3,660,000	△ 670,000	奨学金返済
	2. 寄 付 金	10,000	10,000	0	
	3. 雑 収 入	10,000	10,000	0	普通預金利息
	当期収入(A)	3,020,000	3,690,000	△ 670,000	
	前期繰越額	21,000,000	20,536,836	463,164	
	合 計(B)	24,020,000	24,226,836	△ 206836	
支 出 の 部	1. 事 業 費	4,400,000	4,400,000	0	
	①研究助成費	100,000	100,000	0	
	②研究奨励費	100,000	100,000	0	
	③奨 学 費	4,200,000	4,200,000	0	7 名
	2. 管 理 費	50,000	50,000	0	
	①雑費	20,000	20,000	0	口座引落手数料
	②租税公課	30,000	30,000	0	
	3. 繰 出 金	1,010,000	1,020,000	△ 10,000	
	4. 予 備 費	18,560,000	18,756,836	△ 196,836	
	当期支出(C)	24,020,000	24,226,836	△ 206,836	
	収支差額(A)-(C)	△ 21,000,000	△ 20,536,836	△ 463,164	
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—	

令和5年度一般会計収支予算書

(自令和5年4月1日～至令和6年3月31日) (単位 円)

	科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
収入の部	1.入 会 金	2,000,000	2,000,000	0	
	2.会 費	25,000,000	25,000,000	0	
	3.学生会費	1,800,000	1,800,000	0	
	4.寄 付 金	10,000	10,000	0	
	5.雑 収 入	1,500,000	1,500,000	0	広告 / 預金利息他
	6.繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	
	当期収入(A)	31,310,000	31,310,000	0	
	前期繰越額	29,000,000	27,236,759	1,763,241	
	合 計(B)	60,310,000	58,546,759	1,763,241	
支出の部	1.事 業 費	17,000,000	13,600,000	3,400,000	
	①会 報 費	10,000,000	10,000,000	0	会報誌発行 / 発送
	②学 術 費	1,400,000	1,000,000	400,000	7学会支援
	③学生後援費	1,000,000	1,000,000	0	西医体 / 学園祭支援等
	④記念事業費	200,000	200,000	0	
	⑤福利厚生費	100,000	100,000	0	
	⑥慶 弔 費	800,000	800,000	0	供花料 / 生花代
	⑦国家試験対策費	500,000	500,000	0	既卒者支援
	⑧名簿製作費	3,000,000	0	3,000,000	
	2.管 理 費	16,801,000	17,001,000	△ 200,000	総会 / 理事会他
	①会 議 費	1,000,000	1,000,000	0	
	②給 料 手 当	7,000,000	7,000,000	0	事務員 3 名
	③旅 費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	理事会出席
	④通 信 費	500,000	500,000	0	切手・電話・電報料
	⑤備 品 費	200,000	200,000	0	減価償却
	⑥消 耗 品 費	400,000	400,000	0	事務用品他
	⑦会費徴収費	700,000	400,000	300,000	会費払込手数料負担
	⑧社会保険料	900,000	900,000	0	労災 / 社会保険料
	⑨交 際 費	500,000	500,000	0	支部会賛助金他
	⑩諸 謝 料	1,200,000	1,300,000	△ 100,000	税理士・弁護士顧問料
	⑪雑 費	600,000	500,000	100,000	コピー代他
	⑫事務局費	600,000	600,000	0	事務室賃借料
	⑬租税公課	1,200,000	1,200,000	0	消費税他
	⑭積立金	1,001,000	1,001,000	0	周年事業費積立他
	3.予 備 費	26,509,000	27,945,759	△ 1,436,759	
	当期支出(C)	60,310,000	58,546,759	1,763,241	
	収支差額(A)-(C)	△ 29,000,000	△ 27,236,759	△ 1,763,241	
	次期繰越(B)-(C)	—	—	—	

(注) 1. 借入金限度額 0円
2. 債務負担額 0円

祝・卒業
令和4年度
卒業証書・学位記授与式

今年の卒業式・学位記授与式は令和5年3月3日（金）に大阪医科薬科大学阿武山キャンパス体育館にて行われ、学部72

期生108名がご卒業されました。

本年の仁泉会理事長賞は大矢明香里さんが受賞されました。

佐野浩一学長の当日の式辞と安藤理事長からの祝辞を掲載いたします。

令和4年度 大阪医科薬科大学 学部卒業式 式辞
大阪医科薬科大学学長 佐野浩一

草木萌動春

本日、ここに大阪医科薬科大学の医学部108名、薬学部276名、看護学部82名の卒業式を挙行するに当たり、心より皆さんを祝福いたします。

「至誠仁術」を学是とする大阪医科薬科大学は、皆さんが入学した大阪医科大学と大阪薬科大学が統合されて生まれました。皆さんが入学した大阪薬科大学と大阪医科大学はそれぞれ一世紀前後の歴史と伝統のある大学で、本日皆さんが卒業する大阪医科薬科大学はその歴史と伝統の合流上にあります。各々の大学の学部の歴史や伝統が、大阪医科薬科大学のSchool of Medicine, School of Pharmacy, School of Nursingに受け継がれております。皆さんがそれぞれの学部の良き伝統を後輩たちに受け渡してくれたことに感謝いたします。旧大阪医科大学、旧大阪薬科大学の卒業生は現大阪医科薬科大学の卒業生となり、皆さんはその先輩たちと等しく、私たちの誇りであり、大阪医科薬科大学の輝々の星となるのです。本日、卒業する皆さんには、大阪医科薬科大学が将来に渡って誇れる社会人となるよう、今後も十分な研鑽を積んで頂きたいと願っております。

本日、学位記を授与された皆さんは一定の水準の医学薬学看護学それぞれの知識と技術を身に付けておられます。皆さんはその知識と技術をもとに論理的に思考し、



社会で活躍してください。また、学問は日々進歩しておりますので、卒業の後も自らの領域の学びを深め、多職種連携教育で得た経験を活かしてより広い領域に目を向けるようにすることが皆さんの思考をより豊かなものにしますので、日々の精進を忘れぬようお願いいたします。

さて、皆さんが船出する社会の潮流は、コロナ禍の影響もあり、大きくまた速いスピードで変わりはじめています。私たちは、IoTを駆使した利便を供受し、医療の世界も大きく変化しつつありますが、その変化は、皆さんが創り上げていくことになります。

振り返りますと、皆さんの大学生活のうち三年間は新型コロナウイルスの猖獗に翻弄される日々でした。皆さんは緊急事態宣言や蔓延等防止措置の下で、稀有な経験を積まれてきました。かつて、医学薬学看護学において、このような感染症の流行は、想定すべく学ぶものでしたが、皆さんは身を以ってその流行を経験したのです。また、

医療系の学生が学ぶ学問に留まらず、社会生活においては、自らが患者やその家族などとしての様々な経験をされました。学生のみならず教職員が次々と目の前に現れる課題の軽重を判断しどのように応えるかを模索する日々が続いています。皆さんは、この経験を通して、一つの課題の答えは幾通りもあり、一つだけではないことに改めて気づかれたことと思います。それらの経験と気付きは思考を重ねるために極めて貴重なもので、皆さんが今後の社会の変化を創り上げる糧となるのです。

その皆さんが、様々な課題の答えを導き出そうと考えを巡らせるとき、順序立てて思考します。「bon sensはこの世でもっとも公平に分け与えられているものである」とデカルトは言います。その「bon sens」とは「理性」とか「良識」と訳されていますが、私は「順序立てて物事を考える能力」のことだと思っています。この思考力は、皆さんが生まれながらに備えているもので、この

能力をよく活かすために教育があります。デカルトは「bon sens」すなわち順序立てて物事を考えることは、善にも悪にもなるとしています。思考の前提が善であれば崇高な結論に至り、逆にその前提が粗末なものであれば邪悪な結論に至ることになるというのです。その前提とは、皆さんの経験であり、教養であり、知識であると私は思います。

卒業生の皆さんには、本学で得た経験、教養、知識、技術を更に洗練しつつ、思考を重ねて、輝かしい未来の医療を創り上げて下さるようお願いします。

結びとしまして、本日ここに卒業する皆さんに改めてお祝い申し上げるとともに、卒業生を祝福するために御参列下さいました皆様はじめすべての関係者に御礼を申し上げ、式辞といたします。

令和5年3月3日



祝辞

一般社団法人

大阪医科薬科大学仁泉会

理事長 安藤嗣彦

第72期医学部卒業生の皆様この度はご卒業まことにおめでとうございます。ご両親をはじめご家族の皆様には感慨ひとしおのことと存じます。心からお慶び申し上げます。さらに本日まで卒業生をご指導され、薫陶を賜りました本学教職員並びに関係各位に対しまして、お祝いとともに厚く御礼申し上げます。

医学部卒業生の諸君は本日から、一般社団法人大阪医科薬科大学仁泉会の正式（学生会員より変更）な会員となり、仁泉会名簿に記載されます会員であります。本法人は1927年創立の大阪高等医学専門学校及び大阪医科大学卒業生で構成され、医学部72期生108名を新たに加えると総数は累計1万人の大会に達し、改めて母校と仁泉会の歴史を認識させられました。現在も各地で活躍されている皆さんの先輩は5,564名を数えます。

本学は医学部、看護学部、薬学部が加わる事により新たな医療系総合大学として船出し、諸君は大阪医科大学からは第72期生、大阪医科薬科大学としては2期生として卒業されました。

本稿が掲載される頃には皆様は、前期、後期の研修制度に基づき、医師としての厳しい修練が始まっておられる事でしょう。本学以外の他大学や研修病院で研修される卒業生は、再び本学での診療や研究に携わる機会は多くありません。しかしながら本学が否かを問わず、この6年間大阪医科大学で学び親交を深めた同級生や教職員の方々との思い出はいつまでも忘れずに充実した日々をお過ごしください。この学生時代の思い出こそが、母校愛を育む最も大きな要素です。

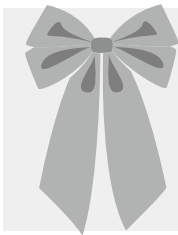
大阪医科薬科大学の学歌には医学薬学相携へて、病む人にこそ“耳傾けよ”“ともにあるべし”“やさしく包め”と謳われています。至誠仁術の建学の精神をかみしめ立派な医師として病める人に貢献されることを期待します。

仁泉会は、学生諸君への事業として奨学金貸与事業以外にも、学園祭、西医体への援助、優秀な卒業生への仁泉会理事長賞、仁泉会報の発送や学生生活のセミナー等の事業を行っていますが、卒業後も4年に1度の名簿の作成発送、会員主催の学会への援助、全国支部組織の強化事業等、多岐に及びます。これらの

事業は全て会員の年会費で運営されています。これらの事業は他の同様の私立医科大学の同窓会からも絶賛されています。諸君達には卒業後はこの事業の継続に協力をいただくよう切にお願いいたします。

最後に、卒業の諸君の前途を祝福いたすと共に御父兄、教職員の皆様のご多幸を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。





祝・京都橘大学健康科学部特別兼任教授ご就任！（併任） （京都大学大学院医学研究科臨床神経学講座臨床教授継続） 大谷 良先生（学40期）

ご挨拶

文責／大谷 良（京都橘大学健康科学部特別兼任教授
・京都大学大学院医学研究科臨床神経学講座
臨床教授 学40期）

この度、京都橘大学健康科学部特別兼任教授という
名誉ある役職に就任（兼任）することになりました。こ
れまで通り、京都大学大学院医学研究科臨床神経学
講座：臨床教授の任も継続してのことになります。

令和4年11月より、新生十全会なごみの里病院に脳
神経内科部長として勤務、脳神経内科の臨床に従事し
ながら、平成28年4月に就任しました京都大学大学院
医学研究科臨床神経学講座：臨床教授として、医学生、
研修医、若手医師の医学教育にも関わっております。
つまり、令和5年4月以降の私の役職は、
新生十全会なごみの里病院 脳神経内科 部長
京都大学大学院医学研究科臨床神経学講座臨床教授
京都橘大学健康科学部特別兼任教授
国立病院機構京都医療センター臨床研究センター客員
研究員
になります。

今後は、引き続き、医学生の教育と並行し、理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士を目指す大学生、大学院生
の指導に当たらせていただきます。大志を抱き、医療社
会に貢献するリハビリ科の先生を育てていく所存です。

大阪医科薬科大学の諸先生には、今後とも、御指導、
御鞭撻の程、何卒、よろしくお願い申し上げます。



大谷 良先生ご経歴

平成3年3月	大阪医科大学医学部卒業
平成3年4月	大阪医科大学附属病院（研修医）
平成5年6月	国立循環器病センター脳神経・脳血管内科 （専門課程）
平成9年4月	京都大学医学部附属病院 神経内科 医員
平成10年4月	Stroke Branch, Department of Neurology, University of Iowa Hospital （visiting clinical research fellow）（留学）
平成10年6月	康生会武田病院 神経内科・内科 医員
平成12年4月	京都大学大学院医学研究科臨床神経学 （医学博士課程）
平成16年4月	国立病院機構京都医療センター 神経内科 医員 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 博士取得後研究員（兼任）
平成18年4月	Stroke Branch, NINDS, NIH （米国国立衛生研究所 脳神経学部門） 博士研究員（留学）
平成20年5月	国立病院機構京都医療センター 神経内科 医長（主任医長） 京都大学大学院医学研究科臨床神経学 臨床准教授（兼任）
平成28年4月	京都大学大学院医学研究科臨床神経学 臨床教授（兼任）
平成30年4月	国立病院機構京都医療センター 脳神経内科 部長（診療科長）
令和2年9月	宇治徳洲会病院 脳神経内科 部長
令和4年11月	新生十全会なごみの里病院 脳神経内科 部長
令和5年4月	京都橘大学健康科学部 特別兼任教授（兼任）



祝・山口大学大学院医学系研究科 法医学講座教授ご就任！ 高瀬 泉先生（学47期）

ご挨拶

文責／高瀬 泉（山口大学大学院医学系研究科
法医学講座 教授 学47期）

2020年11月1日より山口大学大学院医学系研究科
法医学講座の教授に就任しております47期の高瀬泉と
申します。

平成10年に大阪医科大学を卒業後、平成16年には
東京大学で博士号を取得し、母校の助教から滋賀医科
大学を経て、2009年10月に山口大学へ着任以来、山
口県内の死因究明業務および他府県を含めた臨床法医
学鑑定（児童虐待や性犯罪の生体の損傷鑑定）に携
わってまいりました。

私どもは、開業医であった祖父と警察官で法律に向き
合う父の姿を見て、高校3年生の受験直前まで医学部
か法学部か迷いました。両方学ぼうと、まず、体力が
必要な医学部を受験して大阪医科大学へ入学でき、法
医学という医療と法律の両者を学べる分野に出会い、ま
さに天職を見つけた思いで、その後20年以上、法医学
一筋でまいりました。

現在、山口大学法医学講座では、山口県内の年間
150件前後の解剖を私と講師の女性教員と2人で担当し
ております。また、年間数十件の臨床法医学鑑定で、
これまで東京高等裁判所を含め沖縄から新潟県まで西
日本を中心に各地方裁判所へ出廷し、特に乳幼児の頭
部損傷や性虐待の事案について専門家として意見を述
べてまいりました。

研究につきましては、私どもの臨床法医学と先代から
引き継いだアルコール医学を2本柱とし、ご遺体から学ん
だことを生きている人・社会へ還元することを目標として
おります。前者では、法医学の分野では虐待されたお
子さんの胸腺が解剖の際に小さくなっていることは以前
から知られておりましたが、機序がまだ十分に解明され
ておりませんので、その解明と生体へ応用して虐待の早
期発見・未然防止へつなげることが課題でございます。
アルコール医学では、捜査機関・法曹関係者から依頼
される飲酒運転の鑑定への還元を目指した薬物動態の



研究に取り組んでおります。

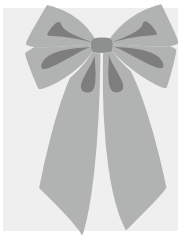
社会活動として、大阪では、日本で初めて性暴力被害に
遭った方々へ包括的なサポートを行う性暴力救援セン
ター・大阪（通称SACHICO）の2010年の開設に
準備段階から関わり、現在は理事・運営委員として、
被害に遭った方々（20歳未満が過半数）が正当な裁
判を受けられるよう適切な証拠採取・保管体制の構築・
維持に努めております。

私ども（臨床）法医学者は、常に事件・事故に向き合い、
鑑定書の締めきりに追われ、出廷した裁判の判決が出る
度に改めて重責を感じる日々を過ごしております。ここま
でなんとか来られましたのも母校の先生方はじめこれまで
お会いした全ての皆様の温かいお声かけのお蔭と感謝
致しております。

今後とも引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げ
ます。

高瀬 泉先生ご経歴

平成10年3月31日	大阪医科大学 卒業
平成10年4月1日	東京大学大学院医学系研究科 （法医学）入学
平成14年4月1日	大阪医科大学法医学教室 助手
平成16年2月18日	東京大学大学院医学系研究科 （法医学）修了（医学博士取得）
平成18年1月1日	滋賀医科大学社会医学講座 法医学部門 助手
平成19年4月1日	京都大学大学院教育学研究科 修士課程（臨床心理）社会人入学
平成20年4月1日	滋賀医科大学社会医学講座 法医学部門 助教（学内講師）
平成21年10月1日	山口大学大学院医学系研究科 （法医学）講師
平成25年4月1日	山口大学大学院医学系研究科 （法医学）准教授
令和2年11月1日	山口大学大学院医学系研究科 （法医学）教授



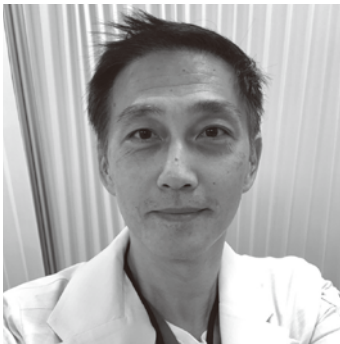
祝・福島県立医科大学 放射線医学講座 教授ご就任！ 福島賢慈先生（学48期）

ご挨拶

文責／福島賢慈（福島県立医科大学 放射線医学講座
教授 学48期）

2021年10月より、福島県立医科大学附属病院に着任しております福島賢慈です。

私は平成5年に大阪医科大学に入学し、学生時代は軽音楽部と水泳部に所属し学業以外(?)で非常に充実した学生生活を送りました。卒業後は東京女子医科大学病院の循環器内科に入局し、初期研修医、大学院、市中病院での研鑽の過程において心臓核医学を始めとした循環器放射線画像に非常に興味が湧いてきました。心臓核医学は比較的大きな病院での運用が多く、CTやMRIは技術的なハードルが依然高く実臨床への導入はまだ先であろう、と考えられていました。しかし今後の循環器診療には画像診断が間違いなく必要になる、と気持ちを固めて画像診断をサブスペシャリティとしてライフワークとすべく研鑽を続けました。しかし米国への研究留学を契機に本格的に放射線画像診断の勉強が必要と考え、悩んだ末ですが思い切って放射線科への移籍を決意しました。帰国後は東京女子医科大学病院の画像診断・核医学科で放射線科医として研鑽を重ね、平成30年より埼玉医科大学国際医療センター核医学科を経て、令和3年10月より現職に至ります。専門は上述のとおり循環器画像診断全般です。当院では心臓CT、MRIからSPECT、PETまで診療に導入し、現在は実質的な臨床稼働が非常に稀な心臓PETMRの診療・研究に従事しております。小生のモットーは循環器領域の画像診断をすべて網羅できる体制で診療にあたる、事にあります。当時は循環器内科で画像診断が専門は珍しかったですが、近年になり循環器内科出身で放射線科医として業務する若手も少しずつですが増えています。Structural heart disease含め、今後画像診断の重要性はますます増してくると期待しております。



福島賢慈先生ご経歴

平成11年 本学卒業。4月より東京女子医科大学病院
循環器内科研修
平成13年 臨床系大学院
平成18年 立正佼成会附属佼成病院 循環器内科
平成20年 東京女子医科大学病院 循環器内科
平成22年 米国ジョーンズ・ホプキンス大学 放射線科
研究員
平成24年 東京女子医科大学病院 画像診断核医学科
平成30年 埼玉医科大学国際医療センター 核医学科
令和3年 福島県立医科大学 放射線医学講座

＜所属学会＞
日本医学放射線学会、日本核医学会、日本心臓核医学会、
日本循環器学会、日本心臓病学会

＜取得資格＞
日本医学放射線学会診断専門医
日本核医学会核医学専門医・PET認定医
日本循環器学会循環器専門医

受賞報告

下記の先生方の受賞が判明いたしました。

母校として慶事でありますので、ここにご報告させていただきます。

赤ひげ大賞

田代 博先生（学部23期）赤ひげ功労賞

（30 ページ新聞切抜欄に先生の記事が掲載されています。）

厚生労働大臣表彰

水谷 均先生（学部26期）社会保険診療報酬支払基金関係功労者



支部長交代のお知らせ

＜淀川区支部長＞

新支部長 熊野宏二先生（学39期）

＜西成区支部長＞

新支部長 横谷 徹先生（学39期）

＜東住吉・平野区支部長＞

前支部長 園谷 昇先生（学21期）



新支部長 長谷川利雄先生（学32期）

＜寝屋川市支部長＞

前支部長 山本祐三先生（学26期）



新支部長 石田 徹先生（学32期）

＜奈良支部長＞

前支部長 中尾重昭先生（学22期）



新支部長 山下正人先生（学31期）

支部だより●●●

第49回奈良県支部総会開催報告

文責／橋本恵介（学42期）

令和5年2月26日(日)、奈良市の春日ホテルにおいて、第49回仁泉会奈良県支部総会が開催されました。コロナ蔓延の影響により、3年ぶりの開催となりました。状況次第では急遽中止の可能性も心配しておりましたが、コロナ第8波の減少傾向が見え始めたところで、何とか開催でき安堵しました。おかげさまで総勢30名の先生方にご出席いただきました。

はじめに令和2年2月から令和5年2月までに、ご逝去された先生方に黙祷をささげ、続きまして中尾重昭支部長(学22期)より開会の挨拶をいただきました。庶務報告を終え、議長石崎雅子先生(学14期)により総会議事の進行がなされました。令和3・4年度の決算報告、令和5年度の予算案の審議を経て、検討議案も承認いただき総会の終了となりました。

引き続き、講演会が行われました。先ず、来賓の仁泉会理事長安藤嗣彦先生(学20期)より「大阪医科薬科大学仁泉会への名義変更と母校新病院の現状」についてご講演をいただきました。大学が合併し、新しい学歌ができましたが、卒業生はこれまでの学歌への思い入れが強い方が多いことや、安藤先生の昔から今までの、医師としてのご苦労や、仁泉会関連の色々なご苦労話も聞くことができ、頭がさがる思いでした。さらに、新病院のお話(三島救命救急センターの吸収・高槻の山並みを見ながら治療できる12Fの化学療法センター・総合医局・病棟の免振装置・エネルギー棟など)も興味深く聞くことができ、高槻の町を思い浮かべながら、ぜひ見学してみたいという気分になりました。最後に「奈良がコロナ禍であるのに、早く総会を開いてくれたことは喜ばしいことと思う」と言っていたき、われわれ会員もうれしく思いました。安藤先生、わざわざ奈良県総会にご出席いただきありがとうございました。

次に、学術講演へと移りました。演者は、一路会錦織病院院長 錦織直人先生(学50期)です。「慢性便秘と直腸肛門疾患の病態と治療」という演題でした。「たかが便秘、されど便秘」という言葉より始まり、便秘がいに生命予後に大きな影響を及ぼすか、そして便秘に至る機序、便秘の種類、数多い便秘薬の使用法、使用経験、患者さ

んへの便秘コントロールの教育、外科的な治療に至るまで、分かりやすく、ご講演いただきました。錦織病院に、便秘の治療のため多数の患者さんが、他府県から受診される理由がよくわかりました。便秘は、普段なんとなく通り過ぎてしまいがちですが、講演では「なるほど」と思われるところも多々ありました。非常に楽しいご講演で、先生方も皆、興味深く聞き入っておられました。

講演会終了後、集合写真を撮影し、懇親会を開催しました。懇親会には、25人もの多数の先生方にご参加いただきました。感染対策を厳守しながら、順番に近況報告、情報交換など、一時の語らいの場となりました。会は穏やかに、そして比較的早いペースで進行し、学歌斉唱はなく、学歌を流しながらのお開きとなりました。なんとなく、少し寂しい気分になりましたが、次回は会員での学歌斉唱後、お開きにしたいと思っております。

(出席者・敬称略)

安藤嗣彦(学20期)、枘岡進(学8期)、杉原洋一(学12期)、西浦孝彦(学13期)、石崎雅子(学14期)、北浦泰(学15期)、中尾重昭(学22期)、花本樹芳(学23期)、奥田隆章(学24期)、山下正人(学31期)、辻口比登美(学33期)、松村典彦(学34期)、大川淳(学34期)、紀川伊敏(学36期)、松尾隆広(学39期)、鎌田勝三郎(学41期)、橋本恵介(学42期)、森本守(学42期)、宮崎眞和(学43期)、宮崎貞恵(学43期)、尾崎誠重(学43期)、河原邦彦(学45期)、古家美幸(学45期)、石崎英介(学45期)、平尾容子(学46期)、阿部洋介(学48期)、錦織直人(学50期)、鶴原昭史(学52期)、中野知哉(学56期)、守屋豪志(学57期)



第49回 仁泉会 奈良県支部総会 2023年2月26日 於 春日ホテル

- 1列目左より 山下、西浦、枘岡、錦織、中尾、安藤、杉原、北浦、橋本、森本
2列目左より 中野、大川、宮崎貞、辻口、石崎、奥田、松村、花本、紀川、尾崎
3列目左寄り 守屋、平尾、阿部、松尾、鎌田、宮崎眞、鶴原、河原、石崎、古家





宮崎敬士先生

兵庫県伊丹市出身
清風高等学校卒業
2002年卒業(学51期)
2022年、茨木市総持寺にみやざきちっこ診療所を開院
在学中の所属部活／空手道部、
東洋医学研究会、ESS、文芸部
趣味／ゲーム、アニメ、漫画、
演劇・映画鑑賞、チェロ

自己紹介をお願いします

私は2002年に大阪医科大学卒業の宮崎敬士と申します。学生時代は空手道部に所属しており、ユニークな先輩方に囲まれ、講義終了後は足繫く道場へ通い、汗をかく毎日を過ごしておりました。強化合宿で体育館の端から端まで突き蹴りを出し続ける練習時には、自分の後ろに汗の道ができるほどハードな練習であったこと、西医体の打ち上げで瓶ビール100本を空けたことなど今では良き思い出です。主将も務めさせていただき、西医体では1学年上に強い先輩方がおられたおかげで2年連続の団体戦優勝を経験させていただきました。卒業後は小児科学教室へ入局し、同附属病院や関連病院にて2年間の小児科初期研修を積みました。感染症を始め、小児神経、循環器、消化器、内分泌、腎泌尿器、血液、新生児などの小児科のすべての診療分野を研修し、乳幼児健診や予防接種などの小児健康医学に関する知識やスキルに習熟して参りました。その後は、同大学附属病院小児科消化器グループに所属し、小児消化器肝臓病医として、小児栄養、消化管閉塞性疾患や虫垂炎、炎症性腸疾患などの消化管疾患、劇症肝不全や非アルコール性脂肪性肝疾患などの肝臓病、先天性胆道閉鎖奇形や慢性反復性膵炎などの膵疾患の診療に携わってきました。同大学大学院に入学後はビタミンEと非アルコール性脂肪肝炎に関する研究に携わり、学位を取得しました。

ご開業のきっかけについて

小児科医であった母の他界を機に第一線の医療から退き、より普通の生活に密着した地域医療へ貢献したい

と思うようになりました。これまで日々勤務医として小児一般・救急診療をしてきた中で思ったことは、小児の腹痛の大半をしめる機能性便秘症でうまく治療されていない例が少なからずあるということ。便秘症は日常最もありふれた消化器疾患でありながら、親の認識・理解不足からと軽視されることが多く、放置されることで繰り返す腹痛により苦しんでいる小児が後を絶ちません。このことから小児消化器病医にかかられている小児がいかに少ないかということに驚かされました。数少ない小児消化器病医としての専門知識や経験をもとに早期介入し、「よく食べ、よく学び、よく遊ぶ」元気な子どもが一人でも多く増えてくれたらと切望します。子どもは次世代の日本を担っていく希望であり宝でもあります。子どもの健康を保つことはすなわち日本の未来を守ることと考えております。小児診療を通じて、地域の小児の健康増進、疾病予防、健全な成長・精神発達を図り、家族の安寧・社会全体の発展に貢献できればと考えております。

診療所の特色を教えてください

当院のコンセプトは「子どもがまた来たくなる診療所」「テーマパークのような診療所」です。時として、子どもにとって恐怖の対象や冷たさを感じる白い壁を一切なくし、クリニック独特の雰囲気を消すことに尽力しました。



診療所に足を踏み入ると、グリム童話の発祥の地＝中世のドイツの街並みが広がっています。壁面アートのテーマは「おとぎの世界」と「家族」。神田佳生さんが描く躍動感あふれる可愛い動物たちが家族単位で皆さんを出迎えてくれます。シンデレラ城へと続く石橋にある扉を開くと、それぞれ異なった童話の世界へテレポート！診療所全体で楽しさとワクワク感を出すことで、「病院に行く」という敷居が少しでも低くなり元気を出してもらえれば本望です。近年、タブレットで動画を見る子どもが増えています。当院の童話の世界へ飛び込むことで、親子で童話の絵本を開くきっかけとなってくればよいと思います。全般的な小児診療から専門性を活かした小児

消化器病診療、予防接種や乳児健診などの健康医学を提供することで子ども成長のサポートをし、母親にはいつでも気軽に相談でき、安心と元気をもらえる診療所になればと思っています。子どもや母親の笑顔を増やすことから地域の活性化に寄与できれば幸いです。

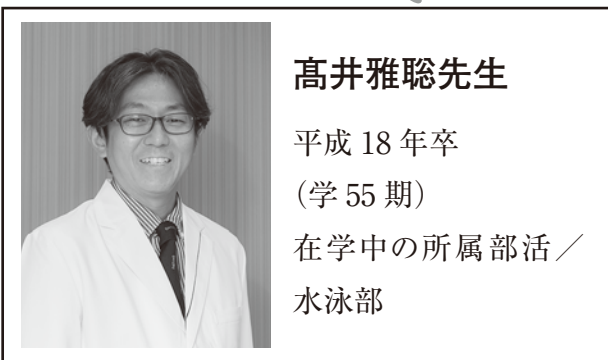
仁泉会員の先生方に一言お願いします

大学病院との連携を密に、近隣の先生方にお世話になりながら、地域の小児医療の一角を担えるよう日々精進していく所存です。仁泉会の先生方には今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

みやざきちっこ診療所のご紹介

●所在地
大阪府茨木市総持寺1丁目3-2
総持寺クリニックビル2F
●電話
072-631-2777
●診療時間
午前診 9:00～12:00
※水・土は9:00～13:00
午後診 14:00～16:00
※月：乳児健診 火・金：予防接種
木：予約外来
夕 診 16:30～19:00
※水・土は午後診・夕診はありません
休診日 水・土曜午後、日曜、祝日
●ホームページ
<https://chibikko-shinryousyo.com>





高井雅聡先生

平成18年卒

(学55期)

在学中の所属部活／
水泳部

自己紹介をお願いします

光栄なことに寄稿の機会を頂戴いたしましたので、自己紹介を兼ねて当院をご紹介します。学55期の高井雅聡（たかい まさあき）でございます。私は2000年に入学し、入学後は水泳部に所属しました。当時水泳部の顧問は植木實前産婦人科学教室教授であり、幹部の時には非常に可愛がって頂きました。4回生の時の産婦人科の座学では実はあまり興味を持てなかったのですが、産婦人科の先生方は面倒見が良く、水泳部の先輩方に産婦人科と新生児科にいたことも相まって、5回生の病院実習の際には産婦人科に興味を持つきっかけを作って頂きました。

2006年に卒業し、2年間は大阪医科大学附属病院で初期研修を修了しました。2008年から産婦人科学教室に入局し、大道正英教授の元で研鑽を積みました。市中病院での後期研修を修了した後に、2011年に大学院に進学し薬理学教室で基礎研究を開始しました。朝日通雄教授のご指導のもと卵巣がんの分子標的治療の基礎研究で学位を取得致しました。2015年から産婦人科学教室の助教を拝命しました。2016年から茨木市の藍野病院で勤務し、婦人科医長もさせて頂きました。藍野病院は各科の垣根のない病院で、婦人科だけでなく、内科・外科・整形外科・脳神経外科の先生方には公私共に仲良くして頂きました。特にマンモグラフィと乳腺エコーをご指導頂き、産婦人科医としての診療の幅が広がったと思っています。

ご開業のきっかけについて

2020年からご縁があって大阪市北区の茶屋町レ

ディースクリニック分院の院長に就任しました。その後クリニック勤務を経て、かねてから地域医療に貢献したいという気持ちがあったためクリニックを開業し、どうにか2023年2月から保険診療を開始し本日に至ります。

クリニックの特色を教えてください

元来クリニックには自分の氏を入れるとなっておりますが、当院はミモザレディースクリニックとしました。当クリニックの「ミモザ」というのは、ご存知の方もおられると思いますが、花の名前でございます。ミモザの花言葉は「優雅・友情・感謝・思いやり」であり、春に黄色い花を咲かせます。3月8日の国際女性デーでは感謝や尊敬の意味を込めてミモザの花が女性に贈られるため、当クリニック名に採用した次第です。クリニックのロゴもミモザのリーフにしました。



当クリニックの場所ですが、大阪メトロ谷町四丁目（谷町線・中央線）7番出口から徒歩約5分、大阪メトロ谷町六丁目（谷町線・長堀鶴見緑地線）6番出口から徒歩約5分の内久宝寺町2丁目の上町メディカルテラスの3階でございます。隣には銅座公園が、向かいにはスーパーのイズミヤとドンキホーテとがあります。その北側には国立病院機構大阪医療センターがありますし、さらに北に行くと地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンターがあります。また、南に行くと大阪赤十字病院があります。基幹病院が複数存在しており病院連携は幅広く対応できているのではないかと考えております。また、谷町四丁目の近隣には、大阪城公園、大阪歴史博物館、大阪府警察本部本庁舎、大阪府庁がありますし、谷町六丁目には大阪府医師会館がございます。隣の森ノ宮駅には2025年に大阪公立大学の森ノ宮キャンパスが開設予定と聞いており、これから賑わう

街になるのではないかと期待しております。

当院は、一般婦人科診療、子宮頸がん検診、月経困難症、子宮筋腫・腺筋症の診断や卵巣腫瘍の診断、妊娠初期の診断から妊婦健診、不妊治療（タイミング療法から体外受精まで）、更年期障害と、産婦人科全般の診断治療を行っております。特に、専門医でもある女性医学には力を入れたいと思っております。また、予防医学の重要さも痛感しており、婦人科検診と乳腺のスクリーニングエコーだけでなく、HPVワクチン接種等にも力を入れていきたいと考えております。

コロナ禍でのご開業について

この原稿を書かせて頂いている2023年2月現在、我々も含め多くの人々はコロナ禍にいい意味でも悪い意味でも慣れてきたように思います。3月13日からマスクの着用は個人の判断となり、5月8日からは5類感染症に移行することが決まっております。しかしSERS-Cov-2の感染力が変わるわけでもなく、Covid-19の脅威は続きます。マスク着用が個人の判断となると、再びアウトブレイクの危機が訪れるかもしれません。1日も早くコロナの脅威が収束することを願っております。

仁泉会員の先生方に一言おねがいします

以上、簡単ではございますが、開業のご報告をさせて頂きました。医師としても、地域医療についても、まだまだ勉強中の身であり若輩者でございます。今後も研鑽を重ね、より良い地域医療の提供に努める所存です。以後、先生方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、このような寄稿の機会を与えて頂きました仁泉会の先生方、事務局の皆様へ深謝申し上げます。

ミモザ レディースクリニックのご紹介

●所在地

〒540-0013

大阪府大阪市中央区内久宝寺町2丁目3-25
上町メディカルテラス3階

●電話

06-6191-0230

●FAX

06-6191-0231

●診療時間

午前診 10:00～13:00

夜間診 15:00～19:00

休診日 火曜日 水曜日午後 土曜日午後
日曜日 祝日

●ホームページ

<https://mimosa-lc.com>

●E-mail

takai@mimosa-lc.com



開業しました！

内本晋也先生（学52期）

名称 東梅田内本泌尿器科
住所 〒530-0051
大阪市北区太融寺町 5-15
梅田イーストビル 2F
電話 06-6365-3885
診療科目 泌尿器科
診療時間 午前 10:00~13:00
午後 16:00~19:00
土曜 10:00~14:00
休診日 水曜・土曜午後、日曜、祝日
ホームページ <https://umeda-uchimoto-uro.com/>
仁泉会の先生方に一言
よろしくお願いします。

開業しました！

岡田俊彦先生（学52期）

岡田 薫先生（学56期）
名称 おかだ消化器・内科クリニック
住所 〒665-0035
宝塚市逆瀬川 1-2-1 アピア 1-4F
電話 0797-73-7878
FAX 0797-73-7879
診療科目 消化器内科・一般内科
診療時間 午前 9:30~12:30
内視鏡検査 13:00~16:00
午後 16:30~19:00
休診日 水曜午後、日曜、祝日
ホームページ <https://okada-shokakinaika.com/>
仁泉会の先生方に一言
2021年10月に開業致しました。
今後とも御指導御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ご開業の際は 編集部にお知らせください

新規でご開業された会員諸先生方がおられましたら
事務局までお知らせください。（自薦・他薦は問いません）

仁泉会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636
e-mail／jimu@jinsenkai.net

支部会・クラス会開催にあたって

支部会・クラス会開催にあたり、ご案内発送や出欠の集計等を仁泉会事務局にて
お手伝いさせていただきます。お気軽にご相談ください。

仁泉会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636
e-mail／jimu@jinsenkai.net

クラス会だより

36会(学14期)クラス会開催の報告 2023年3月18日 京都

文責／上原従正（学14期）

毎年春に大阪・京都で交互に開催して、1日目は懇親会、2日目はエクスカッションとしてゴルフ組と観光組に分かれて旧交歓談を重ねて楽しんできましたが、2018年5月に開催後はコロナ禍により4年間のブランクがありました。

卒後58年目の今回は開催を心待ちにしていた会員11人と夫人4人がホテルオークラ京都に参集して開催しました。前回後に死去された5人に冥福を祈った後に開宴し、旬の京料理と美酒を酌み交わしながら、各

人のスピーチでは近況や健康状態など談論風発とどまるところ知らずの盛況でした。なお、卒業時62人が現在物故者26人で、高齢や身体障害のため参加不可能の会員も多くなり、今後の継続について討議しましたが2025年の母校創立100周年までは続けることになりました。

翌日のエクスカッションではゴルフ組はなく、観光組は午前中に京都御苑の中にある京都迎賓館を見学しました。京都迎賓館は海外からの賓客に対して歴史的・文化的遺産の蓄積が大きい京都の地に、日本建築の伝統技能の粋と美しさを現代の建築の技術と融合させる「現代和風の創造」を目指して建設されました。京都迎賓館をガイドツアーで巡ったのち、晴天下に御苑の一角にある満開の近衛の枝垂れ桜をめで、昼食は京天ぷら懷石を賞味しました。その後は知恩院を見学した後に次回は大阪での再会を約し解散しました。



大阪医科大学 三六会 同窓会 令和5年3月18日 於 ホテルオークラ京都

後列左

上原従正
福永晶
神谷剛彦
児玉隆
大塚頼宏
大澤直夫人

前列左

島田眞久
島田眞久夫人
奥沢康正夫人
奥沢康正
杉之下公子
石崎雅子
横見育子
大澤直

仁泉ひろば

jinsen-park

高齢社会*を考える ーやがて老いるはずのあなたにー

文責／牧野文雄（学2期）

2001年執筆
「私家版 旅、歴史、そして社会」第二部より
その2 社会的背景

今日、老人たちは、運が悪いと詩情の秋を越えて厳冬期になっても死ぬことができないのである。たとえば美しい余韻で終わった《黄昏》のその後を、想像してみるほうがよい。80歳の狭心症もち、ノーマンのほうはともかく、健康でその年70歳を迎えるはずの妻エセルには、それからまだながく生きつづける可能性があったろう。そうなればあれほど聡明でしなやか、魚釣りから帰らぬノーマンたちをさがし、彼らにむかって暗い湖に飛びこむほどの若々しさを見せた彼女にも、痴呆や車椅子とベッドなど、歳月に腐蝕された老残の日があるのかも知れない。

と、なればセイヤー夫妻の真の試練は、本当は映画の終幕後にある。おまけにそれは今後、少子化社会とぶつかるのである。つまり明日の日本社会は、根底にある文明社会の構造の歪み、という「老いと死」の現代的な困難さに対応しなければならないのである。

超老人の大量生産が現代文明の産物なら、そんな老人たちが生きる日本社会は、繁栄のなかで驚くほど変わったし、いまま変わりつつある。老人の「老いと死」のむつかしさは、まさにそこから生まれた。

日本が平均寿命世界一の長寿社会に躍り出たのは、1984年（昭和59年）、映画《黄昏》が世に出て3、4年後のことだった。一方、1953年の《東京物語》からすると、ざっと30年後になる。

いまから百年前の明治28年の日本人の平均寿命は、男43弱、女44強。戦後初めての国勢調査（昭和22年）では男50、女54弱だったのに対し、いまでは男77歳、女84歳が標準になった。百年のあいだに日本人は、前半50年間の伸長7～9歳に対し、後半の50年間になると27～30歳も延命し、日本の100歳以上の高齢者は21世紀、1万人を突破した。

すこしでも元気で長生きし、またさせたいという人情からすれば、歓迎すべきことに見える。だが本当にそれを、手放しで礼賛してよいのだろうか。肝腎なことは、それ

で社会が（老人本人を含めて）実際になにを得、またなにを与えることができるかになる。

古い！それはたしかに、ある時期まではブラームス晩年の音楽のように黄金の老熟であり、夕映えのなかの豊かな収穫の季節である。大哲学者イマヌエル・カントが《純粹理性批判》以降、精緻な批判哲学体系の主著群を世に出したのも、すべて60代だった。だが、1804年、老耄の人として80年の生涯を閉じたこの巨人が、知力の衰えを感じながら自分を維持しようと努めた晩年は痛ましい。長生きすればするほど、だれにしても「時」に侵蝕されることを避けがたいのだから。

もちろん金と健康があるあいだは万々歳で、長生きに文句があろうはずがない。ただ問題は動けなくなったときであり、それでもまだお迎えが来ないときであって、そうなるとうどう体裁をつけたところで、単なる厄介者に成り下がってしまう。「古希」が古来稀だった昔なら、こんな事態なそうそう多いわけではなかったし、また人手もあった。けれども、なにごとと度を越すと困りものなのは当然で、近未来の超高齢社会になるとそれですむはずがない。その萌芽はすでに80年代の「熟年」とそれに反する「老害」の造語やポックリ寺信仰、また《恍惚の人》等の出現にあらわれた。以下近未来社会の、あまりうれしくない話になるが、お許しいただきたい。

山田風太郎さんが朝日新聞に連載したエッセイ《あと千回の晩飯》*1は、この深刻な問題を、あるときは大胆に鋭く、あるときはざらりと洒脱軽妙に論じているが、ご自分の寝たきり生活の体験から以下のように述懐された。「およそ死の床にある人間をもっとも悩ますものは、病気そのもののほかには排泄の始末だろう。それは彼自身の尊厳性にかかわるからだ。永遠の死出の旅にオムツのコスチュームとは、あまりに滑稽すぎる」と。それは、淡々と述べられているだけになおさら痛ましい。氏はまたこうした老後を、「急死でもない限り、70パーセント以上はオムツをあてがわれて死を迎えるのじゃないか」と推定する。これは本来、すこしばかり長生きしたぐらいでは引き合わないようなことであり、ましてやそれが、古い呆けた生のはてともなれば、悲惨としか言いようがない。

社会、つまり現在まだ元気で活躍中のあなたは、自分の人生の最終段階にもっと想像力を働かせてみる必要がある。こんな不景気な想像は、気が滅入るばかりでしたくないのが人情だが、未来社会を暮らしやすくする工夫は、やはりそこから出発すべきだろう。いまを盛り of あなたにも、「明日は我が身」の肝要事なのだから。

頼みの綱の医学の進歩を考えてみよう。

「生命科学の」21世紀、医学・医術の飛躍はめざましいにちがいない。高齢でも健康で労働ができ、寿命の限界まで独力で生活した上で、ポックリ死ねれば社会の負担は最低ですむ。社会がいままで医学に期待してきたのは、まさにそれである。医療の進歩でアルツハイマーそのほかの痴呆や寝たきり老人を減らすことができれば、そのための医療費など、安いものかもしれぬ。とすれば文明社会の暗黙の理想は、まさにこの「穏やかな消滅」、具体的にいえばできるだけ「手数のかからぬ老いと死」を用意することにある。若さ願望、健康信仰も、それに合わせて生まれた。しかしいくら未来でもそんな虫のよい注文が、「おいそれ」と通用するはずがない。

医学の進歩で厄介なのは、試行錯誤による不完全試作品を提供しつづけるだけでなく、老いて死ぬ本質的な運命を、ただ先送りするしかないことである。その結果製造された超高齢者は、生きるにも死ぬにもお金と人手がかかり、しかも本人にとってもそれでは幸福でない。

こんなことも、本人としては苦情のいいようもないが、そんな老人を大量に抱える社会からすれば、本音はたまったものではないだろう。おまけにその社会も、文明によって解体される時代である。老後を託すべき社会、ことに昔老人が、杖とも柱とした家庭が現在どうなっており、将来どんなふうになりそうか。周囲をみまわすと、ここにも愕然とするような変化が同時進行中である。

近代以降、文明の発達が集団動物・人類の共同体社会のきづなを緩め、個に分解してきた。日本の場合も明治以降、「自由」「人権」思想の受け入れにはじまり、大正、昭和と近代市民社会の論理が、「家」の解体を進行させ、戦後復興期まもなくの、《東京物語》で頂点に達した小津晩年の映画世界にしても、当時、まだいろ濃く残る日本的心情からみた、滅びゆく「家」社会への挽歌だった。こうして「一族」は「一家」になり、高度成長期以降、両親と子供だけの「核家族」にまで分解、老親は家郷の片田舎に残されたが、勢いのおもむくところ、それだけにとどまらなかった。

「市民社会の論理」は、個々人の自己主張・自己の最大表現の主張だから、女性や子供の立場からの市民的自己主張は、社会進出だけに終わらない。家長権、父権の喪失から未婚の母、離婚、母子家庭や独身男女の急増等、一連の社会現象は、善悪の問題をとおり越して歴史的必然になった。女性が共同社会のかすがいの役割をやめてしまった以上、最小の共同体「家庭」でさえ個への分解で崩壊しつつある。こうして日本の一世代当たりの人数は、わずか3人足らず、14才以下と

65才以上の非生産年齢層合計が31パーセント、大学教育を勘定に入れると3人で2人を扶養する時代になった。

こんな社会の、遠からぬ未来世帯の構造を考えてみるとする。20年後、盛りのあなたが、もう初老・中老を迎えるころだろう。

2010年の日本の世帯の予測は、単独が28パーセント強、夫婦のみ22、親子40パーセント、20年後の2020年になると、65才以上の老人が4人に1人に、とある。ただでさえ後進型の高い人口密度と同時に、こんな先進型の少子・高齢社会を併せもつ日本に、なんとという未来が待っていることか！うかうかすると超老人の子供のほうも、親の介護がおぼつかない社会で、老人たちは幸福な余生を送れるのだろうか。

その上この社会では、親孝行の伝統が残るという伝説も、残念ながら色あせたようである。たとえば高崎絹子氏の論文《わが国における老人虐待の実態調査（平成7年）》報告*2を読んでもかなりの深刻さがある。高崎氏らがおこなった調査では、虐待された老人中、「要室内介助」以上の不自由者、つまり準寝たきりと寝たきり老人とが併せて54パーセント弱、痴呆老人が23パーセント強を占めている。つまり被虐待者の77パーセントが、寝たきりや痴呆老人で占められているのである。

生きすぎたはてに待つかなしい現実。自己中心的で便を粗相する老醜。もしそこまでゆけば、神様だってへきえき厄介者に感じる。ましてふつうの人間には嫌悪の念を抑えられれば上出来であろう。だが、「明日は我が身」という自省が内心の本音を恥じさせ、押し殺させるのである。そう考えると、家庭や施設内の陰靡な虐待も、あって当然といわねばならない。高崎氏によると、虐待の15パーセント強が配偶者、31パーセントが子供、27パーセントが嫁からである。

高崎氏は、老人虐待増加の要因をいろいろ挙げているが、要するに前述の2つ。つまり社会構造の変化で、家庭が老人の受け皿として必要な物理的、心情的なゆとりを失ったこと、医学・医療の進歩が、老人など、介護が必要な人間を大量生産しつつあること。その2つが原因のほとんどになる。

こうしてやっと超高齢社会の入口に立つ現在でさえ、日本の老人が余生のための居場所や避難所を家庭に見つけることはかなりむづかしい。介護の現状を追跡した報告などを見ると、そんな状態を反映して家庭にしても医療・福祉の現場にしても、随所に破綻と歪みがかくせないのである。

未来社会は、今後ますます増える「はじき出された」老人救済のために、家庭に替わってケアつき老人ホームや老人病院の設備、介護サービスのシステムなどを大車輪で整備・維持しなければならない。だがそんな経済的・人的負担を無制限に甘受できる社会など、どこにもありはしないのである。それを前提にして、社会はもういまから対策を立てなければならない。

ところで誤解のないように断っておくが、自分自身老人に属する筆者は、この小論で高齢者、つまり結果としてこうなってしまった長寿を否定したい、と思っているわけではない。ただそれが日本のような窮屈な働き蟻の社会では摩擦の種になり、老人たちの不幸と社会の重荷をもたらすことになってしまう。そのことを問題にするのである。

たとえばカスピ海の周辺、農業牧畜以外に産業がないグルジアやイランの山村は、長寿地帯として昔から有名だが、当然ながら老人ホームはない。年寄りは孫・曾孫たちと暮らし、独居老人も比較的すくないようである。敬老の社会だというのが内実は人間社会のこと、たまには家庭内虐待もあるだろう。だが一般的に貧しいが大らかで、老人には暮らしやすい社会なのだろう。

それにくらべたとき日本の現状は、物質的には文明の利器に囲まれ、それらがただ旧式になったという理由だけで無造作に捨てられる社会なのだ。ところが高齢者に一番たいせつなのは、物質の豊かさよりも、むしろ時空や対人関係のおおらかさである。つまりおなじ長寿社会でありながら、反対の極にある日本は、高齢老人にとって桃源郷ではないのである。日本の「老いと死」の周辺には、以上のような社会的要因があり、文明の発達、ゆたかさが、思いがけない方向に弊害を生んだのである。

筆者はここまで、どちらかといえば老いの暗い面を強調した嫌いがあるけれど、世間一般の老人の老いと死の「受入れ方」をみると、現実はずしも深刻ではない。むしろもっと楽天的でくたくなく、貪欲積極的に残りの生から喜びをひっぱり出そうとしている。それはケ・セラ・セラと利根的ではあってもしたたかで、すこしばかりけなげであり・・・。それが人間というものであり、そうせざるを得ないとしても、老いと死に対する正しい態度だと思う。もしそのまま死ぬるものだったら、こんな幸せなことはなかろう。

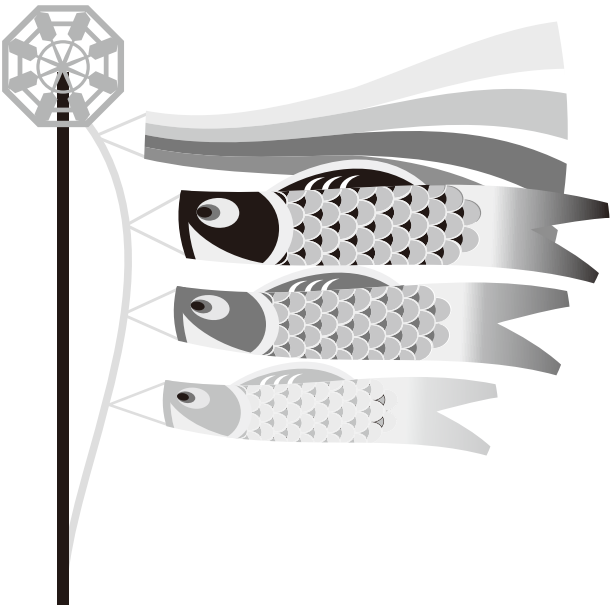
だが、人間の「死に方」は、「生き方」にもまして運まかせ、風まかせだから、人間としての威厳を失わずに重々しくあるいは軽快に、さりげなくあるいは生真面目に、各人の好みにしたがってわかれを告げることが、だれにでも許されるわけではない。くじ運が悪いと悲惨な試練

のあげくやっと開放される羽目になり、しかも年をとるほどそうなりやすくなる。それでもまだ生き足りない人間は、未来についての想像力がよほど足らないのだろう。

もし、老人問題の対策を真剣に考えるなら、解決にはもっと本質に踏みこんだ議論がいる。高齢化社会を肯定的に意味づけて、未来を明るく構想することは、社会の活力を引き出すためにももちろん必要だと思う。だが、どんな結論を引き出すかは人さまざまだとしても、ここに述べた社会的背景が一時的現象でない以上、それから目をそらした解決は、一時を繕うに過ぎない。

*1 山田風太郎；《あと千回の晩飯》朝日新聞出版部、1997年

*2 高崎絹子；老人の人権とアドボカシ（権利擁護）- 老人虐待の実態調査を通して考える 平成8年版看護白書 日本看護協会出版会



仁泉ひろば

jinsen-park

はかまた

袴田 巖さんの再審決定までの冤罪死刑囚としての57年！

文責／益永陽子（学 23 期）

袴田 巖さんは現在87歳である。
1966年静岡県の一家四人が殺害された事件で逮捕され、公判では一貫して否認したにも関わらず犯人とされ死刑確定の身となった。

事件から1年2ヵ月後にみそタンクから発見された「5点の衣類」の「血痕」が問題にされたが、捜査機関が「5点の衣類」を捏造した可能性もあり、2014年に第二次再審請求審で静岡地裁が再審を決定し、47年7ヵ月もの確定死刑囚として拘留された後に、48年ぶりに釈放された。

だが検察側が即時抗告し、東京高裁が再審開始決定を取り消し、最高裁がその審理不尽を指摘して高裁に差し戻した。

本年3月13日、再び再審開始を支持する決定が出るまでに9年かかっている。

確定死刑囚は、朝の刑務官の靴音が自分の独房の前で止まるか否かと死刑執行の恐怖に脅える毎日であり、袴田さんは、今も精神を病んでいる。

死刑囚の面会は親族とごく一部の人にだけ許可がおりる。

他の多くの国々では、普通の人が普通に面会できることを知った私は、私も面会を許可してくれるかもしれないと思い東京拘置所で、袴田巖さんへの面会申出書の提出を続けた。47回とも許可されないままだった。何度も面会申出書を提出しているうちに、死刑囚との面会が許可になった例もあった。

人を殺すのではなく、人を生かすのが社会・拘置所であって欲しいと、私は思う。

人々が安心して生きられるのを手伝うのが医師であろう。

産婦人科専門医である私は、産科医として「殺していい生命」なんてある筈がないと思っていた。

生んだ子どもを死刑囚にしたいとか国のために兵隊にしたいと思って生む女性はいない。生まれながらの犯罪者もいない。

社会で起きた事件の解決は、生きて被害者・遺族に

償いをし、その上での『社会復帰、生き直しができる社会』が必要であろう。

確定死刑囚として限られた面会の中で、袴田さんは冤罪を訴え続け、彼を支える人々もキリスト者市民、ボクシング界、日弁連へと拡大した。

もし、死刑が執行されていたら、とり返しがつかない事を、司法、行政、法務大臣が行ったことになる。

日本の死刑執行は公務員である刑務官が絞首刑のボタンを押し、刑務官医（医師）が死亡確認を行う。

これ迄に、再審無罪となった事件（免田事件、財田川事件、島田事件、松山事件）に見るごとく、裁判官も人間である以上、冤罪、誤判は避けられないため、死刑制度は廃止すべきである。

1989年国連は死刑廃止国際条約を採決し、日本政府に批准を求めている。EUも日本政府に同条約を批准するように勧告している。

フランスでは世論の8割が死刑もやむを得ないという中で、冤罪死刑囚の処刑ギロチン現場に立ち会ったロベールバダンテール氏は1981年法相として死刑廃止を実現、ギロチンを廃止した。

現在のフランスでは、社会への啓蒙活動もあり、死刑廃止は当然のこととなった。EUへの加盟は死刑廃止が前提となっている。

世界では、108ヵ国が死刑を廃止、10年以上執行がないなど事実上の廃止を加えると、144ヵ国に及び、死刑制度の廃止は、世界の潮流である。

バイデン大統領は、公約で死刑廃止を表明している。死刑存置執行国は、日本、中国、北朝鮮、イランなどの55ヵ国でOECDの中では、日本と米国だけである。

日本では、法務大臣が「死刑執行命令書」に判子を押せば執行される。

杉浦正健元法相は、「私は執行命令書にサインしない。心の問題、宗教観・哲学の問題だ」と述べ「国家が人命を奪うということ。本来は人権を擁護するのが国家。死刑にすべき人たちを教育によって社会に復帰させるのが国だ」と語った。

田藤重光最高裁判事は「どんな凶悪な犯罪者でも更生の可能性はある」として死刑廃止を訴えた。

冤罪死刑囚であった免田栄さんが出獄した際「死刑を廃止して下さい」（1983年）と訴えたにもかかわらず、40年後の現在も、日本政府は、死刑を廃止するよう国連、EUからの勧告にもかかわらず、世論の8割が死刑制度の存置を認めているという理由で、死刑制度を存続している。

死刑は残虐な刑罰であり、人間の尊厳を傷つけるものであること、統計上犯罪の抑止効果も無く、冤罪の可能性もあることから死刑廃止への道へと啓蒙し、代用監獄と呼ばれる冤罪を生むシステムを変え、フランスのように世論を変える努力をすべきは日本政府であらう。

2010.7.28民主党政権下の千葉景子法相は、アムネスティインターナショナルの「死刑廃止議員連盟」の事務局長を務めたにもかかわらず「死刑執行命令書」にサインし、判子をついて、2人の死刑囚の絞首刑に立ち会った。そして東京拘置所の刑場執行室とボタン室が公開された。当時選挙で落選しており、世界でもっとも恥すべき日本の法務大臣であった。

また昨年11月の葉梨康弘法相はパーティで「判子を押すときだけニュースのトップになる地味な役職だ」と発言し、更迭された。

死刑は、日本国憲法第36条「公務員による拷問及び残虐な刑罰は絶対にこれを禁ずる」に反している。

「医の倫理」からも死刑は許されないと考えるが、私の大阪医科大学の学生時代には「医の倫理」の科目が無かった。

医学が日々進歩する中で、冤罪死刑囚袴田巖さんの人生を通じて、生命を扱う母校の若者たちに今後の日本の「いのちの未来」を期待したい。



広告募集！

仁泉会ニュースでは、広告の募集もしております。
ご出稿のタイミングや料金などは事務局までお問い合わせください。

TEL / 072-682-6166 FAX / 072-682-6636

e-mail / jimu@jinsenkai.net

仁泉ひろば

jinsen-park

4年ぶりの総会開催！ 令和4年度 大阪医科大学バスケット ボール部OB・OG会改め 大阪医科薬科大学医学部バスケット ボール部OB・OG会 総会開催の報告

文責／宮崎信一郎（学52期）

去る令和5年（2023年）2月25日（土）に令和4年度大阪医科大学バスケットボール部OB・OG会総会が午後7時からホテルグランヴィア大阪で開催されました。前回の開催が平成31年（2019年）2月（詳細は仁泉会ニュース50巻4号参照）でしたので、実に4年ぶりの開催となりました。開催日時点では、まだまだ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年の参加者の半分程度の17名の参加となりました。

岡田茂樹新会長（学24期）のご挨拶で総会の開会となりました。故革島前会長から会長を引き継いだものの、総会を開催できなかった寂しさがあったが、こうして開催できたことに感謝を述べられました。北野直先生（学45期）の司会で、最初に庶務関連の報告が行われ、令和3年度までの会計を報告されました。そして、大阪医科薬科大学に大学名が変更されたことに伴い、タイトルにあるように、名称変更の議論が行われました。議論の結果、『大阪医科大学バスケットボール部OB・OG会』を改め、『大阪医科薬科大学医学部バスケットボール部OB・OG会』と名称を変更し、今後も引き続き活動していくことを決定い

たしました。また、この4年間で亡くなられた、革島康雄先生（学20期）、羅成奎先生（学24期）、久野友子先生（学41期）へ黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りいたしました。

総会の終了後に、中田英二先生（学49期）の乾杯の音頭で懇親会が開催されました。参加者の例年の半分ということもあり、参加者全員の近況報告を兼ねた挨拶がありました。内容は、仕事内容や職場のことから、子供（進学先、結婚などなど）のこと、診療所の跡継ぎ・継承問題、親の介護問題、趣味の話など、非常にバラエティーに富んでおり、実りある懇親会となりました。

コロナ禍で変化の激しい4年でしたが、この会は、学生時代に戻れるような楽しいひと時を過ごすことができ、いい意味で変わらない会でした。次回も一年後に再会することを約束してお開きとなりましたが、感染対策を講じながら有志一同で北新地への二次会に移り、会は深夜におよんだことは言うまでもありません。

OB・OG会を盛り上げて、現役学生を応援するためにも、バスケットボール部OB・OGの先生には、是非とも総会および懇親会にご出席していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。次回の開催は、令和6年（2024年）2月24日（土）にホテルグランヴィア大阪で予定しております。

参加者（敬称略）：

佐浦隆一（顧問、リハビリテーション学教授）、岡田茂樹（学24期）、松井昭彦・中田英二・小國龍也（学28期）、東川雅彦（学34期）、瀧谷公隆・太田博文（学38期）、劉長勸・山口和男（学44期）、北野直（学45期）・菅敬治（平成8年金沢医科大学卒）、片嶋隆（学50期）、宮崎信一郎（学52期）、伊丹康夫（学56期）、出原啓介（学60期）、柏木秀基（学65期）

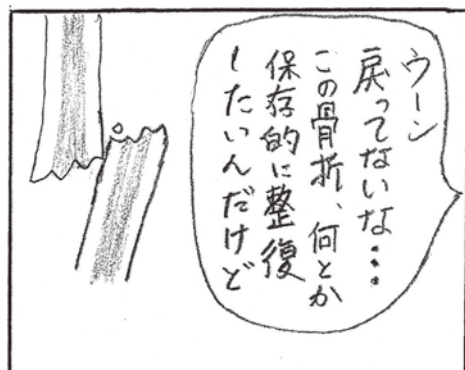


（後列左から）伊丹康夫、片嶋隆、菅敬治、劉長勸、山口和男、北野直、宮崎信一郎、出原啓介、柏木秀基
（前列左から）太田博文、中田英二、岡田茂樹、佐浦隆一、松井昭彦、小國龍也、東川雅彦、瀧谷公隆

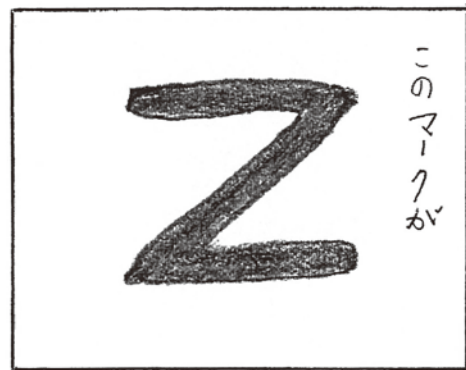
まんが第61回 回文が付いて拡大版

今期の担保はポン太の金庫 (学31期)

整復と征服

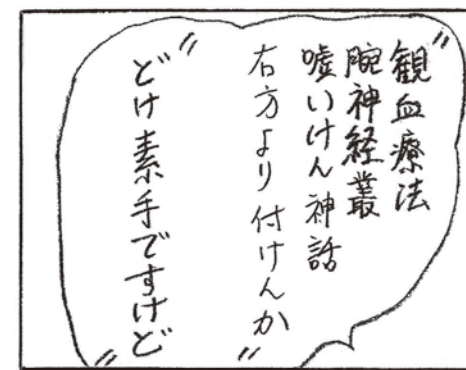
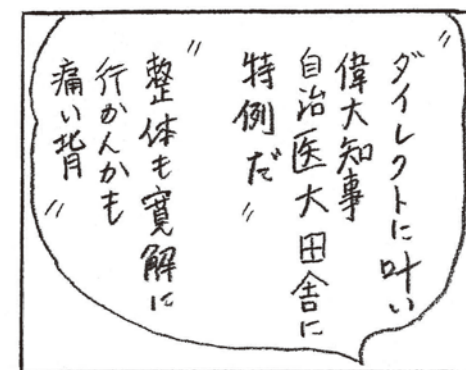
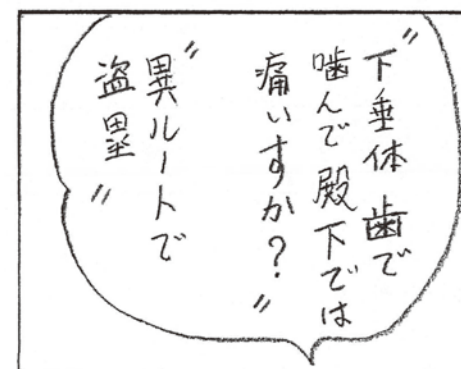
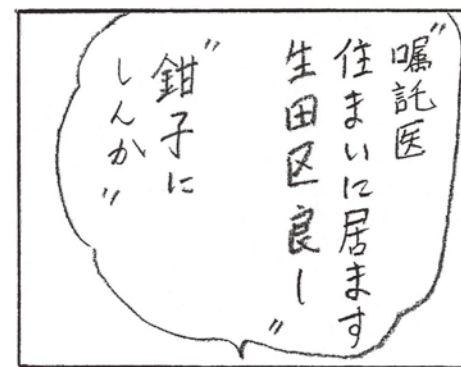


勝てなかった相手



ケルトラマインが最終回で勝てなかった怪獣がセイント

回文 (8コマ)



新聞切抜

<第三种郵便物認可>

地域ニュース

「なんで私？ 赤ひげは一生懸命頑張っている割には経済的に恵まれないイメージ。そこは一緒かな」と、照れくさそうに笑う。

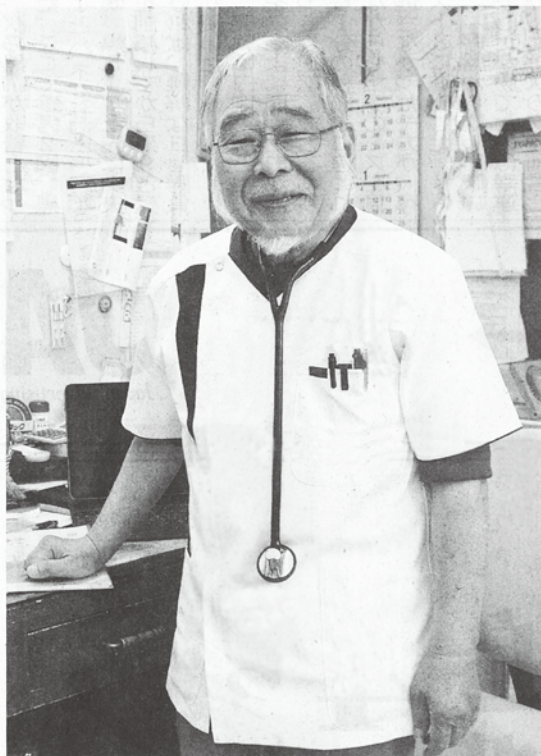
先月、地域で献身的な医療活動に取り組み医師を顕彰する「第11回赤ひげ大賞」（日本医師会と産経新聞社主催）で、赤ひげ功労賞に選ばれた。訪問看護ステーションの立ち上げや学校医など地域住民への医療に尽力する姿が評価された。

広隆寺（右京区）の近くで、10年続く区内で最も古い田代医院の



—きょうと—

右京の赤ひげ先生 田代博さん（75）

訪問看護ステーション設立に尽力
「患者さんの立場で診療」

たしろ・ひろし 昭和22年、亀岡市出身。祖父が右京区太秦に開業した田代医院の3代目。嵯峨野高から大阪医科大（現大阪医科薬科大）卒業後、同大付属病院での研修医を経て枚方市民病院（現市立ひらかた病院、大阪府枚方市）に勤務。昭和58年から田代医院の院長。京都循環器医学会理事を務める。

3代目。江戸時代には松江藩の侍医を務めるなど代々医師の家系だ。

植物を育てることが好きで一時、園芸農業に心傾いたものの、医学の道へ。病気発覚からわずか2カ月で亡くなった父の葬儀の翌日に36歳で医院を継いだ。

平成9年、右京医師会が運営する

訪問看護ステーションの設立に取り組んだ。訪問看護は、寝たきりなど医療機関に行くことのできない患者の自宅などをステーションに所属する看護師が訪問し、医師の指示書に従ってリハビリや点滴注射など医療サービスを提供する。当時はまだ珍しく、看護師らを募り、ステーションの設立にこぎつけた。

現在は、医院での診察だけでなく通院が困難な患者宅に診療に赴くほか、幼稚園や学校、授産施設の健診など休み暇もなく区内を走り回る。モットーは「わかりやすい言葉でわかりやすく説明すること」だ。

忙中有閑で院内に花を飾ったり、料理を作ったりすることを楽しんでる。医院の外壁にはパンジーやヒオウが飾られ、待ち時間の患者の癒やしに一役買っている。食べることが好きで週1回の家族との夕食と、食事作りは気分転換だ。

「（今回の受賞は）右京医師会や職員、先代らも一緒にほめてもらったと思う。これからも患者さんの立場に立って診療したい」。右京の赤ひげ先生は優しく目を細めた。

（田中幸美）

産経新聞に
田代 博先生(学23期)の
記事が掲載されました。

会員著書

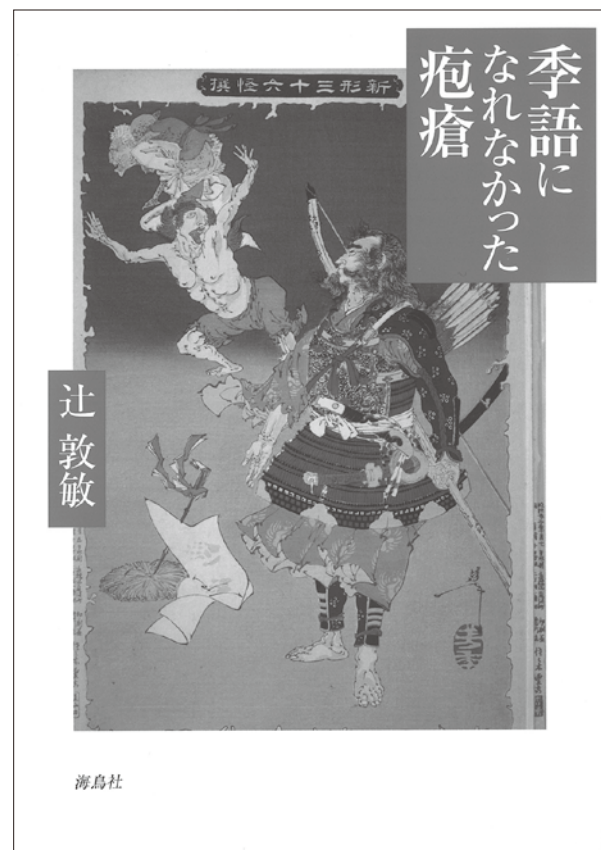
季語になれなかった疱瘡

著者 辻 敦敏（学11期）

出版社 海鳥社

価格 1700円＋税

古来、死に至る病であった疱瘡とはしか。
現在、はしかは季語として残り、疱瘡は
詠まれることはない。
その理由とは何か？



八十路を迎え俳句を始めた。

或る時、句会後のひと時に句会代表のお一人が「はしかは季語ですよ」と言われた。ならば疱瘡は如何かと調べ、書き連ねた千数百枚の拙稿の大筋が本書である。古来、疱瘡ははしかと共に人びとを震撼させた死に至らしめる疫病であった。

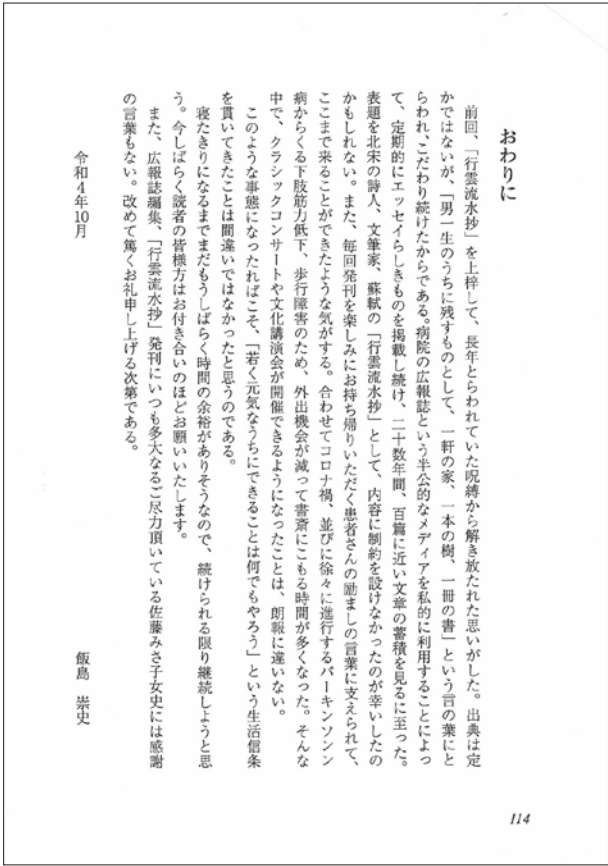
本書は「疱瘡はなぜ、季語になれなかったのか」を主題に手許の史籍、書誌、史料、資料を参考に稿を進めた。概要は日本史上の疱瘡とはしか、医学の見地からの疱瘡とジェンナーの業績、疱瘡と俳句の三部からなる。

著者にとって異分野の調べもの、なかなか思うような内容になっておりませんが、ご高覧賜り、ご教示、ご意見など賜れば幸いです。

辻 敦敏

会 員 著 書

学部25期の飯島崇史先生がエッセイ集“行雲流水抄2”を発刊されたのでご紹介いたします。 安藤嗣彦(学20期)



メディア掲載・書籍発行の際は 編集部にお知らせください

テレビ、ラジオ、新聞などのメディアにご掲載になられた会員諸先生方がおられましたら
掲載された原本を同封のうえ、事務局までお送りください。(自薦・他薦は問いません)

仁泉会事務局 TEL／072-682-6166 FAX／072-682-6636
e-mail／jimu@jinsenkai.net

本 部 だ よ り

理事会開催報告

令和4年度第3回理事会

日 時：令和4年10月15日(土) 午後3時40分～
場 所：母校新講義実習棟4階「特別応接会議室」

出席者：19名

欠席者：14名

I. 報告事項

1. 物故者13名
2. 奨学金貸与のお礼
3. 西医体援助金について
4. 会員慶事
5. その他

II. 協議事項

1. 議事録署名者の件
2. 令和5年度学術集会助成申請募集の件 可決承認
3. 定期預金移行の件
みずほ銀行高槻支店 法人窓口閉鎖 可決承認
4. 卒業生記念品の件 継続審議
5. 2024年版名簿作成事業の件 継続審議
6. 大阪府連秋季学術講演会出席の件 可決承認
7. 次回会議の件
令和5年1月21日(土) 可決承認
8. その他

令和4年度第4回理事会

日 時：令和5年1月21日(土) 午後3時～
場 所：母校新講義実習棟4階「特別応接会議室」

出席者：19名

欠席者：14名

I. 報告事項

1. 物故者25名
2. 大阪府連秋季学術講演会
令和4年11月12日(土)
3. 東大阪支部総会
令和5年1月15日(日)
4. 大学評議員会報告
5. その他

II. 協議事項

1. 議事録署名者の件
2. 令和5年度仁泉会学術集会助成申請の件
7学会 可決承認
3. 仁泉会理事長賞の件 可決承認
4. 建学の精神等の意見募集の件 可決承認
5. 薬学部同窓会新年会の件 可決承認
6. 令和5年度事業計画(案)の件 可決承認
7. 2024年度版会員名簿作成の件
継続審議
8. 役員改選の件 可決承認
9. 令和5年度総会運営の件 継続審議
10. 次回会議の件
令和5年3月18日(土) 可決承認
11. その他

令和4年度第5回理事会

日 時：令和5年3月18日(土) 午後3時～
場 所：母校新講義実習棟4階「特別応接会議室」

出席者：24名

欠席者：9名

I. 報告事項

1. 物故者4名
2. 薬学部同窓会新年会 2月5日(日)
3. 奈良県支部総会 2月26日(日)
4. 令和4年度卒業式 3月3日(金)
5. 第117回医師国家試験
6. その他

II. 協議事項

1. 議事録署名者の件
2. 大阪医科薬科大学女性医師の会総会出席の件 可決承認
3. スキー部西医体支援依頼の件 可決承認
4. 令和5年度収支予算案の件 可決承認
5. 次期役員推薦候補者の件 可決承認
6. 令和5年度総会運営の件 可決承認
7. 退職金支払いの件 可決承認
8. 2024年度版名簿作成の件 可決承認
9. 基金運用の件 可決承認
10. 次回会議の件
令和5年5月20日(土) 可決承認
11. その他

会 員 訃 報

次の会員が亡くなりました。
慎んでご冥福をお祈り致します。

事務局編集係

高医14期 飯岡諒一先生

令和5年2月13日老衰の為ご逝去（103歳）。
昭和19年卒。

奈良県協同病院（奈良医大）でのご勤務を経て、飯岡
医院を開設され、地域医療に貢献されました。
ご遺族 長女 昭子様

高医20期 柴谷昭治先生

令和4年11月7日老衰の為ご逝去（95歳）。
昭和26年卒。
神戸市にて小児科をご開業になり、地域医療に尽力さ
れました。
ご遺族 長男 真治様

学部1期 草田嘉彦先生

令和5年2月6日老衰の為ご逝去（95歳）。昭和27年卒。
卒業後、和歌山県立医科大学附属病院で勤務されま
した。和歌山県にて草田医院をご開業になり、約40年
にわたり院長として地域医療に貢献されました。
ご遺族 妻 典子様

学部8期 栗栖孝臣先生

令和4年12月25日入浴中の事故の為ご逝去（88歳）。
昭和34年卒。
大阪市此花区にて内科・小児科をご開業になり、地域
医療に尽力されました。
ご遺族 長男 孝一様
次男 義賢様（学38期）
長女 多佳子様

学部8期 松田宗英先生

令和3年7月9日胸水膜炎の為ご逝去（87歳）。
昭和30年卒。
昭和60年に大津市にて内科・胃腸科をご開業になり、
平成27年4月に閉院されるまで約30年にわたり、地域
医療の為に尽くされました。毎年同窓会に参加する事を

楽しみにしておられたとのご遺族様のお言葉です。
ご遺族 妻 澄江様

学部10期 木村泰治郎先生

令和4年11月28日肺炎の為ご逝去（88歳）。
昭和36年卒。
昭和37年6月に岐阜県立医科大学にて医学博士学位
を取得されました。昭和58年4月に草津市にて木村診
療所を開設され令和4年11月28日に閉院されるまでの
約40年にわたり地域医療の為に尽力されました。
ご遺族 妻 康子様

学部11期 根亘祐平先生

令和4年12月9日癒着性イレウスの為ご逝去（89歳）。
昭和37年卒。
卒業後、済生会中津病院にてインターンとして勤務され
ました。昭和43年12月に鳥根県大田市にて根亘産婦
人科を開院され、令和2年12月までのながきにわたり地
域医療に貢献されました。平成25年10月に厚生労働
大臣表彰を受賞されました。大阪医科大学をご卒業さ
れた事を大変誇りに思っていられしやったとのご遺族様の
お言葉です。
ご遺族 妻 ミユキ様

学部12期 廣石 隆先生

令和4年9月26日消化管出血の為ご逝去（86歳）。
昭和38年卒。
大阪薬科大学ご卒業後、母校に入学され、ご卒業後は、
大阪市立大学耳鼻咽喉科教室に入局されました。大阪
市生野区にて広石耳鼻咽喉科をご開業になり地域医療
に尽力されました。また仁泉会支部長として会務運営に
もご協力いただきました。
ご遺族 息子 卓司様

学部14期 中林栄一先生

令和4年12月13日心不全の為ご逝去（82歳）。
昭和40年卒。
国立大阪病院でのご勤務を経て、中林耳鼻咽喉科をご
開業になり、平成24年10月31日に閉院されるまで地域
医療に貢献されました。
ご遺族様 妻 みよ子様

学部20期 川崎建市先生

令和4年12月15日小脳出血の為ご逝去（77歳）。

ご投稿のお願い

会員相互および母校とのコミュニ

ケーションや情報交換の場として「仁
泉会ニュース」を引き続き利用してい
ただきたいと思っています。会員の先
生方より本誌に対する忌憚のないご意
見をいただき、同窓会の活動をさらに
充実させていきたいと考えています。

下記の要領にて、多くの会員皆様か
らの投稿をお願いします。

- 支部会、クラス会、趣味の集会など
の案内や報告
- 「仁泉ひろば」のコーナー
- 研究論文の要約（以前に他誌に投稿
された内容でも結構です）
- 随想、紀行、写真、絵画、俳句、短
歌、川柳などの趣味や特技
- 紹介したい店、場所、物など
- 本誌に取り上げて欲しい話題
- 字数には制限は設けません。葉書1
枚、便箋1枚でも結構です。
- 広告に関して

会員自身が出される広告は現在100
字程度までは無料です。内容は、人
材募集、開業場所の紹介、医院承継、
ブライダル、趣味の発表会の案内な
どです。詳細については事務局まで
お問い合わせ下さい。

（内容により有料の場合があります）

事務局編集係



大阪医科薬科大学女性医師の会 第2回総会のご案内

新緑の芽吹きに心躍る候、女性会員の皆様におかれましてはお変わりございませんでしょうか。下記の通り、第2回総会を開催させていただきますのでご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、昨年に引き続き会場とオンライン（ライブ）のハイブリッド形式とさせていただきます。4年ぶりに懇親会も開催いたしますので、ご参加をお待ちしております。参加登録時にご来場のご希望をお聞きますので、来場・オンラインいずれのご希望であっても、下記URLもしくはQRコードから参加登録をお願いいたします。

皆様とお会いできることを役員一同楽しみにお待ちしております。

記

日時：令和5年6月10日（土）午後4時30分開始

午後4時30分～5時 総会（別途議事次第に従う）

午後5時～5時45分 医療講演会

講師：大阪医科薬科大学 眼科学 教授 喜田照代先生（学45期）

午後6時 懇親会

場所：ホテルグランヴィア大阪 20階

総会及び講演会：孔雀の間 写真撮影：桐の間 懇親会：鳳凰の間

会費：10,000円（懇親会会費）講演会のみ、オンライン参加の場合は無料

【参加登録 URL】

<https://bit.ly/3nw7nDW>

*登録後、当日のオンラインアクセスの返信がありますので、当該メールを保存してください。

参加登録
QRコード



【メールアドレス登録のお願い】

これまでにメールアドレスをご登録いただいた先生方には、メールでご案内をお送りいたしました。この機会にメールアドレスのご登録をお願いいたします。

送付先：omc-women@jinsenkai.net（仁泉会事務局内、女医会事務局）

登録内容：①氏名（旧姓）②卒業年度もしくは学期③メールアドレス

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です

女性医師の会の HP が公開されました！

大阪医科薬科大学女性医師の会

トップページ 概要 お知らせ 活動報告 会員ページ お問い合わせ

思いやりと情熱を持った女性医師を目指して
学年、世代、専門性を越えた、生涯変わらない同窓生のつながり

<https://osaka-iyakudai-joseiishi.com/>



本サイトのQRコードです。スマートフォンでアクセスする場合はこちらのQRコードを読み込むことで簡単にアクセスすることができます。

年会費のお支払いが、 コンビニエンスストアも利用できるようになりました

会員の諸先生には、これまで年会費のお支払いを郵便局振込みでお願いしていましたが、令和5年（2023年）度より郵便局に加え、コンビニエンスストアでも年会費のお支払いが利用できるようになりました。

コンビニエンスストア決済の導入により、郵便局とコンビニエンスストア併用の「ご請求書兼払込取扱票」をお送りさせていただきますので、お知らせいたします。

なお、ご利用等について、次の事項にご留意ください。

（1）払込取扱票の裏面記載のコンビニエンスストアもしくは郵便局のいずれかの窓口にてお振込みをお願いします。

（2）コンビニエンスストアでお支払いの場合は、お支払期限がありますので、請求書記載の期限日までにお振込みをお願いします。

期限日を過ぎた場合は、コンビニエンスストアではお支払いできません。

その場合は、郵便局にてお振込みをお願いします。

（3）コンビニエンスストアでお支払いの場合は、払込取扱票の金額の訂正はできません。

（4）払込取扱票に住所をご記入いただくとお支払いが出来なくなります。住所等の変更はお手数ですが、事務局に、FAX、電話、Mail等でご連絡をお願いいたします。

（5）払込受領証を領収証に代えさせていただきますので、必ず保管ください。

（6）コンビニエンスストアでの収納に係わる業務委託先は、次のとおりです。

・収納代行会社：DSK電算システム（株）

編集部より

会費納入のお願い

年会費

令和5年度 10,000円

令和4年度 10,000円

令和3年度 10,000円

納入のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 会計係

原稿募集のお知らせ

仁泉会ニュースの原稿を募集しております。日々の診療で感じられた事、研究報告、趣味のお話やクラス会や支部会のご報告なんでも結構です。

ご投稿お待ちしております。

●54巻4号（令和5年7月1日発行）

締切 令和5年5月末日

●54巻5号（令和5年9月1日発行）

締切 令和5年7月末日

●送付先：仁泉会事務局 〒569-8686 高槻市大学町2-7

E-mail：jimuj@jinsenkai.net FAX:072-682-6636

編集後記

今月号には、母校卒業式の記事が掲載されています。また、新規開業報告もあり、それぞれ新たな人生が始まることになります。卒業生諸君や先生方のご健勝とご発展を願っています。新規開業の先生方の卒業年度をみると、小筆との差がますます開いてきています。当然のことではあるのですが、なんとなく寂しいような、自身

の年齢を思い知らされるような気がしています。

新型コロナ感染症の扱いが緩和され、徐々に日常が戻りつつあります。飲食を伴う会合は全く以前と同じという訳にはいかないと思いますが、増えてくることでしょう。仁泉会支部会などが再開されましたら、ご参加下ればと思います。母校で開催される5月28日の仁泉会総会にも、ぜひご出席ください。

(治)



ハードルをジャンプ!!

地元で 50年

薬袋・診察券・カルテなどの

医療印刷

タツミ印刷株式会社

お気軽にご相談下さい。

池田・高槻

tel: 072-761-8434